

ふれあい

第72号

グループホーム草加
平成28年3月吉日
草加市長栄2-20-1
☎ 048-946-7270



菊千会様の踊り
とても素敵です♪



お誕生会も一緒に行いました。
今年も元気に笑顔で♪



おひな祭り

3月5日、おひな祭りを行いました。
お忙しい中たくさんご参加くださり、楽しく行えました。
ありがとうございました♪



とてもおいしそうですね♪
おひな祭りにぴったりです！



運営推進委員会

便秘に効果のある食事
の勉強会を行いました。
ご参加くださり、
ありがとうございます！



【片付けるのが遅いと婚期が遅れる理由】

江戸時代になると、幕府は上巳の節句を3月3日と制定しました。それまで行われていた流し雛に変わり、雛人形を飾る風習が根付いてきました。雛人形には厄災を人に代わって引き受ける人形（ひとがた）の役割があったため、女兒の健やかな成長や幸せを願う日となったと言われていました。女性が旅行や嫁入りの際、もし災いが起きたとしてもその身代わりになってもらうべく雛人形を持って道中を過ごしたことから、上流階級の娘の嫁入り道具として雛人形の需要は高まり、また良い夫婦となるよう、さらには天皇・皇后のような幸せな結婚になることを願って、男女対の雛人形が作られるようになったと言われています。

●片付けができないような人は家事もできない。

●雛人形が厄を引き受けてくれているので、飾り続けていると厄を再び拾ってしまうから。

迷信ですが、

できるだけ早くしまっべきですね。

雛人形の由来

雛人形は元々、「上巳の節句」の際に、草や藁で作った人形（ひとがた）で体を撫で、穢（けが）れを映したものを川に流すことで厄払いとされていた行事と、貴族階級の女兒が行っていた紙の人形のおままごと遊びである「ひいな遊び」が合わさって生れたものだと言われています。

豆まき

2月5日、豆まきを行いました。



鬼さんたちと記念撮影
良い表情ですね。
しっかり厄払い出来た
ようです♪



自治会防災体験

3月11日、有明にある防災体験学習施設【そなエリア東京】に行ってきました。
この日は東日本大震災からちょうど5年目。皆さんで黙祷を行いました。



施設内は震災の街並みが再現されており、タブレットを使用し、問題を解きながらまわりました。日頃から考えることが大切です。



地域包括支援センターを通して受けられる支援の例

生活支援

- ・ 外出支援
- ・ 配色サービス
- ・ 家事援助

交流

- ・ 地域交流活動(サロン)
- ・ 認知症カフェ
- ・ 料理教室、絵手紙教室など

高齢者の権利擁護

- ・ 虐待防止
- ・ 成年後見制度の利用

地域包括支援センター 日常生活の味方

暮らしQ&A

元気な中高年にとっては介護予防のための体操教室や談話会など役立つ情報も豊富。イベントやボランティア活動の支え手として活躍の場もある。
元気なうちから気軽に訪れて職員と顔なじみになっていると良いそうです。

また自治体や各企業が行う配食サービスや買い物に行く時の送迎サービスの利用方法など、それぞれに適した解決方法を一緒に考えてくれる。
介護の必要がなくても、誰でも利用できる。例えば「高い場所の窓ふきや、庭の草むしりが億劫になってきた」等の悩みには、地域内で生活支援サービスを行うボランティアや業者を紹介してくれる。

高齢になってくると、健康でも日常生活で不便を感じる事が増えてくる。そんな時に心強いのが「地域包括支援センター」です。
地域包括支援センターはだいたい中学校の学区ごとに一か所整備されている。住宅地で担当のセンターが決まっています。介護に精通した主任介護支援専門員、保健師または看護師、福祉制度に詳しい社会福祉士らが生活全般の相談にのる。

編集後記

陽ざしのやわらかさに春を感じる頃となりました。3/5 運営推進会議を行いました。今年 GH 草加は利用者様の下剤に頼らない便秘対策に力を入れていきたいと思いません。排便に効果のある食べ物を取り入れて自然な形で排便を促せればと思います。

2階に新しい仲間がご入居されました。平田一郎様です よろしくお願ひ致します。

編集者 林 田中 横川



2月、3月のお誕生者



おめでとうございます!